



入学式

## 令和3年度スタート ～ 別れと出会い ～

新年度が始まって一か月。この時期は、「別れ」と「出会い」の季節でもあります。6年生が卒業し、新1年生が入学しました。先生方やPTA役員、応援団、学校運営協議会委員にも異動・交代がありました。異動された皆様には大変お世話になりました。

本年度も、新しいスタッフで子どもたちと一緒に、元気いっぱい、笑顔いっぱい、優しさいっぱいの宮池小学校にしていきたいと思います。

## 新年度を迎えて ～ 宮池小学校運営協議会 会長 榎原 安宏 ～

田植えの時期になりました。ピカピカの1年生も少し慣れてきたでしょうか。応援団の皆様に見守られながら元気に登下校しています。

杉本貞三前会長から引き継ぐことになりました榎原安宏です。杉本貞三会長が10年築いてこられた学校運営協議会の委員の皆様、応援団の皆様、社会福祉協議会の皆様、日本福祉大学生の皆様、先生方のお力添えをいただきながら事業継続していきたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

子どもたちの成長を一番感じるのは児童会役員との懇談会です。子どもたちの夢の実現のために、少しでも応援できればと素直に思います。また、登校しづらい子どもや教室に入れられない子どももいます。私たちに一体何が出来るでしょうか。寄り添うこと、ほめること、励ますこと、他にもあるかもしれません。

「誰一人取り残さない」地域の実現に向け、皆でなかよく、子どもたちのことを考え、たくましく活動していきたいと思ひます。

## 地域とともに ～ 宮池小学校長 笠井 香里 ～

村上信彦校長の後任として赴任いたしました笠井香里と申します。かわいい子どもたちと、毎日楽しく学校生活を送っています。4月いっぱい、新1年生の下校時の見守りをしてくださったのは、学校運営協議会の実働組織である「宮池小応援団」の皆さんでした。安全に下校できるよう共に歩き、子どもたちとの会話も楽しんでくださった1か月でした。



応援団 下校サポート

私は、地域の方への感謝の心が子どもたちの中に育まれていく様子を見ることができ、とても嬉しく思いました。今後も、保護者の皆様、地域の皆様と共に宮池の子どもたちを育てていきます。たいへんお世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

## 「宮池子どもサポート会議」の充実！

学校と家庭と地域のパートナーシップを基に、子どもたちの健やかな成長を応援する取組です。昨年度から、以下のような取組を進めています。

- ◎ 子育て上の悩みや困りごとなどに寄り添う「なんでも相談窓口」の開設  
(半田市社会福祉協議会との協働)
- ◎ 保護者同士が気軽に集う「ママたち(パパも)のおしゃべり会」の開催
- ◎ 体と心の成長を支援する子ども食堂「みやっ子サロン」の開催
- ◎ 不登校など個別の支援が必要な子どもたちへの寄り添いや居場所づくり

少しずつ成果が見えはじめ、学区内外から応援の声もいただいています。本年度は、更なる充実を目指し、持続可能な取組として定着を図っていきたくと考えています。地域の皆様のご参加をお待ちしています。一緒に、子どもたちとのふれあいを楽しみましょう。お問い合わせは、宮池小ホームページや電話(0569-22-8777)、FAX(0569-24-9506)等でお願ひします。

### 令和3年度の学校運営協議会スタッフです。よろしくお願ひします

＜委員＞ 榊原 安宏(会長)、服部 裕子(副会長・コーディネーター)、  
加来 正晴(書記)、澤田 葉子、久村 俊弥、鈴木 裕二、  
加藤 智子、桂 優子、増田 学、水野 尚美

＜顧問＞ 杉本 貞三(前会長)

＜OBS＞ 高木 昭佳(応援団代表)、市野 喜啓(前P長)、榊原 宏(P長)、  
鳥居由紀子(P母代)、前山 憲一(社協次長)、水野あゆみ(社協)

＜学校＞ 笠井 香里(校長)、高津 幸男(教頭)、梶川 高彦(教務)、  
西村 貴志(校務)、藪田 恵理(SSW)、竹中恵未(心の教室相談員)

## こんな「別れ」と「出会い」もありました

子どもたちの登下校を見守るようにそびえていた半田市指定天然記念物の「白山神社のクロマツ」が寿命を全うし、4月末に伐採されました。樹齢300年を超える、高さ16メートル、幹まわり3メートルの大木は半田市のシンボリック的存在でもありました。伐採された断面が、どこどなく寂しそうな横顔に見えました。長い間ありがとうございました。



伐採された黒松の断面



垂直の壁に咲くパンジー

一方、家の裏のコンクリート壁にしがみつこうように花を咲かせているパンジーを見つけました。「風」が、ひび割れた隙間に去年の種を運んだのでしょうか。新しい命との出会い、生命の営みに心を打たれました。

「風」といえば、5月5日「こどもの日」の社説に「風になれ、大人たち」とのタイトルを目にしました。風がない日の鯉のぼりは、尾びれを垂れて元気のない姿を見せている…子どもたちが元気よく成長していくために、大人たちはさわやかな風になりたいものです。